

児童発達支援評価表【保護者様用 集計結果(令和5年)】

公表: 令和6年2月20日

アンケート期間: 令和5年12月19日～令和6年1月9日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1		○活動に合わせて、空間が分かれていたり、子どもにとって、分かりやすいように思います。 △少し狭い。	本事業所は「児発ルーム」「放デイルーム」がセパレート。各ルームにはそれぞれに個室もあります。適宜「個別支援」を織り交ぜながら、活動や支援に合わせ、時空間の最適化を図っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1		△知らない。送迎スタッフの間違いや物の紛失が多い。「報連相」もできていない。	その都度ご連絡をいただき、ありがとうございます。お手数をおかけすることがないように、「事例研」を踏まえながら、職員の資質向上に努めさせていただきます。よろしく願いいたします。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配置が適切になされているか	13	1		○子供が体操や走り回るのが好きになったようです。家でも走り回っています！	安全に配慮して、室内で「リレー」を実施。それを室外にも少しずつ広げながら、楽しく走る支援を継続してまいります。
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 ①児童発達支援計画 が作成されているか	14			○要望を取り組んで下さる。 ○こちらの考えを取り入れ、今の本人に合わせた計画を立てていただいていると思います。	保護者のみなさまの「養育方針(含む、知育や園における様子等)」を踏まえ、「具体的支援目標」を設定。「モニタリング」における評価も、その成果と課題をご納得いただけるように記述させていただいています。今後も積極的な質疑応答をいただき、より客観的な計画作成を進めてまいります。
	5	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	1		* 支援内容には入れてありませんが、最近お箸を興味深そうに見ています。そろそろ「箸トレーニング」を考えております。よろしく願い申し上げます。	基本的に達成期間は「6ヶ月間」とさせていただくことが多いですが、期間内であっても、進捗状況を知らせていただければ、面談も含め、対応を考慮させていただきます。
	6	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14				

適切な支援の提供	7	②活動プログラムが固定しないよう工夫されているか	14			<p>○毎回バラエティに富んだプログラムと繰り返し行う体操などで、バランスよく組まれていると思います。</p> <p>○様々な体験活動によって、人との関わりを学んでいるようなので、大変助かっています。</p>	<p>一つのツールの使い方に習熟することを旨とせず「定番活動」と、折々のお子さま方の状況を踏まえ、柔軟に仕組み「イベント活動」を適宜組み合わせた支援を実施しています。「集団支援」を基本とし、お友だち同士ができるだけ関わり合えるように支援していますが、思うようにいかないことも多く、試行錯誤の毎日です。ご意見やご要望がありましたら、ぜひ施設にご連絡ください。</p>
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	7	3	<p>△「幼稚園を週5にしているかどうか」という提案があったため、(施設と幼稚園)双方のご意見を交え検討した上で決めようと思っていた。連絡したが、実施されておらず、再度連絡すると、「こちら(家庭)の意思で決めてよい」との回答だった。「施設の連絡を待っていた期間、また、回答がなかった件、幼稚園との連携不足を含め、残念です。△わからない</p>	<p>連絡に行き違いがあり、ご迷惑をおかけしました。後日園に出向き、お子さまの様子を見学させていただきました。「訪問記録」を届けさせていただいたところ、お話を聞き届けいただき、どうもありがとうございました。今後は「園から学校」へ向けて、折々の確認とともに、ご相談をさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。</p>
	9	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	1			
11	保護者に対して家族支援プログラム(③ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	3	2			
12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14				<p>○アプリで確認できてよい。詳細に記載して下さっている。</p> <p>LINE(& HUG)による日々の支援記録はおおむね好評をいただき、施設としても張り合いを持って取り組ませていただいています。アセスメントやモニタリングの際も、お子さまの様子をよくご存じの保護者さまが多くおられ、日常の連絡等の大切さを日々感じております。</p>	

保護者への説明等	13	保護者に対しての面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2		* 送迎の時にしか話せないで、たまに面談があると思う。 * 面会の機会はありませんが、お話のできるときにコミュニケーションがとれて、ありがたいです。	「個別支援計画」につながる面談を除き、折り入った面談は難しい面もありますが、ご一報いただければ、前向きに対応させていただきます。
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	6	* 私は「不要」と考えているので、不満はありません。	保護者面談の折り、ときおり「開催希望」の有無をお聞きしますが、それを望む声は今のところ聞かれませんが、当面は個別面談を重視させていただきますながら、今後の方向を探ってまいります。
	15	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13		1	OLINEも活用できてありがたいです。	LINE (& HUG) を有効に活用されてみえる保護者が多く、施設としてもできるだけ迅速な対応が可能となります。今後ともよろしく願いいたします。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14				
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13		1		
	18	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13		1	△どのように扱われているか、わからない。	折に触れ、ミーティング等で「守秘義務」への喚起をしております。書類については、管理はもちろん、書庫の施錠の管理に至るまで、万全を期しております。
	19	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12		2	△マニュアルを知らない。	過日配布させていただきました。行き違いとなり、申し訳ございません。

非常時等の対応	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2	△訓練していない。	月1回SSTで「避難訓練」を実施。室内外の防災&防火訓練はもちろん、映像やクイズを通じ、災害や火災の実態を折に触れて学べるようにしています。夏休みには「施設外学習」として「岐阜南消防署見学」を実施。消防団員の方々から実際の火災について学んだり、放水訓練を見学させていただき、防火意識を高めています。
	21	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	<p>○園にお迎えに来てもらえることがうれしいようです。</p> <p>○同じように通所しているお友だちの名前が本人の口から出てくるようになりました。事業所が一つの居場所として、本人にしっかりと認識されるようになったのを感じます。いつも喜んで通所できています。</p> <p>△行きたがらない時がある。行きの車に乗ってくれない時がある。</p>	開所3年目を迎え、多くのお友だちが言葉を巧みに話せるようになり、言葉足らずで起こりがちだったトラブル等がかなり減りました。とりわけ、かつて起こりがちだった、お気に入りの遊具等を巡るトラブルが一気に減る一方、一つの遊具をうまくシェアして上手に、集団遊びができるお友だちが増えています。そうした室内の和やかさをさらなる落ちついた支援につなげ、個々のお子さまの支援内容の充実を図ってまいります。

満足度	22	事業所の支援に満足しているか	13	1	<p>○活動内容も豊富で、その中で子どもの特性を理解し、対応、支援していただいているので、感謝しています。</p> <p>○土日祝日にも療育を受けさせることができ、大変ありがたく思っています。他年齢のお友だちと外出し、身体を動かすことで、たくさんよい刺激を得られています。</p> <p>○いろいろなところへの外出や体験をさせてもらって、とても感謝しています。</p> <p>△けが(かまれたり)等があったときは、一言伝えていただくと安心します。</p> <p>△小学校就学に向けた支援(小学校の通級に関する情報)がないのが気になっています(民間サービスと公的サービスなので、連携はしていない?)。</p>	<p>平日利用はもちろん、週末の多様な「施設外利用」への評価が高まっているようです。公共施設(公園、博物館、科学館等)はもちろん、山登り、みかん狩りなど、折々の自然を満喫できるお出かけも、自然に身体を鍛えることができると好評です。今後も保護者の方々のご要望も拝聴しつつ、実りある見学を企画してまいります。</p> <p>施設内で懸念事例があった場合、直接連絡させていただくか、HUGに記載させていただいていますが、連絡が不徹底で保護者さまにご迷惑、ご心配をおかけした事例もありました。以後こうした事例が起こらないように、事業所全体で確認を重ねてまいります。申し訳ございませんでした。</p> <p>入園や就学へ向けた相談、および支援は、保護者のご希望に沿って、進めさせていただいております。コロナ禍</p>

❶ 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

❷ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

❸ 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。

児童発達支援自己評価表【事業者用 集計結果(令和5年)】

公表: 令和6年2月20日 アンケート期間: 令和5年12月19日～令和6年1月9日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現在の課題や工夫等
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	1		適切である。折々の状況により、支援内容に合わせ、スペースを計画的に活用していけば、支援の流れもさらにスムーズになると考える。病気や怪我などの際は、個室を適宜活用しているが、職員間でその使用判断に違いが出ることがあるので、管理の流れを今一度確認したい。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	2		「欠勤職員」「当日利用者」の増減で、時間帯により、現場が厳しくなる場合はあるが、配置数は適切である。日常の支援内容の見直しや、各職員の能力や資質の向上を図り、臨機応変な対応に備えたい。 △部屋に職員が一人もいない時間帯がある。職員同士の声かけや子どもの人数確認を徹底して把握することは、どんな状況においても大切だと思う。 △少ない時と多い時の差が激しい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配置が適切になされているか	8	3		フロアはバリアフリー化されており、転倒防止のための「マット敷設空間」も確保。一方、教室間の自由な行き来、テンションの上がりすぎた利用者による過度な移動がときおり見られるので、利用者には各部屋の適切な使い方を随時教えている。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	5		月によっては、職員が一堂に会してミーティングを実施することが難しいことがあった。各職員の「支援者」としての基本的資質を伸長し、「支援内容」の充実を図るために、「集団支援企画書」による支援目標、支援内容の共通理解を図ってきたが、十分に活用できていないといえず、「PDCAサイクル」定着にはまだまだ課題がある。 ○定期的にミーティングをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	6		「一斉アンケート」を実施したことはないが、「モニタリング」から「個別支援計画作成」までの一連の過程を充実させ、個々の利用者と保護者の意向に最大限配慮した個別支援計画に落とし込んでいる。三度目の試みとなった「本評価表」では、保護者の声もより具体的に届いており、その期待に応えられるように、今後の支援の方向、事業所のありようを検討したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3	3	保護者用、事業所用ともに集計が終わり次第、事業所の意向を明確にして、毎年「こぼんはうす本部HP」において公開している。

7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	1	開所から3年目が過ぎ、日々の支援の流れが定着した今こそ、その成果と課題を客観的に評価すべき時期にあると感じる。各職員の見識をもとに、具体的な事実に基づく「内部評価」はもちろん、識者も交えた「外部評価」も必要であり、委託すべき外部機関を早急に探りたい。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	5	1	十分とはいえない。研修の有無にかかわらず、児発管より月2回の「研修資料」を提案。全職員に回覧し、「支援者としての基本的資質」「支援内容の基礎基本」にかかわる提案を実施している。「事例研究会」などの実践的なフィードバックは今後の課題である。 ○動画を見る研修はできている。 *機会があれば、社外研修も必要に思います。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	2		アセスメントでは、保護者から具体的なお話をいただけることが多い。施設内における利用者の様子も共感的に受け止められ、真摯なご意見やご質問をいただくことが多い。ほとんどの保護者に「継続利用」をいただいております。アセスメントのたびに、保護者と施設とのニーズが合致することも少なくない。今後も個々のストレングスへのアプローチを第一に、より多くのニーズを引き出せる支援を工夫したい。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	3		「特性確認シートⅠ（社会性）」「特性確認シートⅡ（コミュニケーション）」「特性確認シートⅢ（想像力&感覚）」をアセスメントツールとして使用。個々の特性を分析するとともに、多くの利用者の持つ特性を客観的に分析。個別支援はもちろん、集団支援にも活用している。
11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	2		アセスメント、とりわけ、初回のアセスメントの際は「児童発達支援ガイドライン」の概要を説明。質疑応答に応じるとともに、場合によっては、4つの支援から導かれる具体例を提示。受け（られ）る支援内容例を提案後、それも加味しながら、各利用者により適切な支援内容を相談させていただいている。モニタリングでもその過程を重視しており、個別支援計画を立てるたびに、利用者の療育を効果的、効率的に進められる支援目標、支援内容に仕上がっている。
12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	2		基本的に（ガイドライン）項目に根ざした支援を心がけているが、折々の利用者の実態により、優先順位が前後することが多々ある。いずれにせよ、「支援目標」「支援内容」に常に立ち返り、個々の利用者への「説明責任」「結果責任」が果たせるように、日々の支援をより具体化している。 ○子どもに合った支援をしている。

適切な支援の提供	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	月末に管理者の指導の下、翌月の「集団支援担当者」を決定。担当者とそれをアシストする支援者が中心となり、個々の集団支援を立案している。実際の支援においては、活動がスムーズに進行できるように、非常勤職員も含め、全職員が現場の状況や変化に機敏に反応できている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	「週末」は保護者のニーズが高い「施設外活動（お出かけ行事）」と「おやつづくり」を交互に実施。「平日」は「オーナメント」「カレンダー」など「制作系定番活動」をベースに、「運動系」「レクリエーション系」「学習支援」などの活動をバランスよく設定している。 ○子どもが楽しめるように、新しい活動を増やしている。 *余った時間（15分～20分）にできる活動があるとよいと思います。準備なしに、その場にいる職員で始められるように。遊び道具がセットして用意してあるとよいです。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9	2	来室直後、「ルーチンワーク（着替え、トイレ、手洗い）」を済ませた後、午前中は「おはじまり（エクササイズ&ダンシング、教育番組視聴）」までは一連の流れが習慣化。さらに、その後の「集団支援」は「レギュラー活動」と「イベント活動」に大別されるが、毎回の利用者の状況をもとに、より適切な支援内容を提供している。午後は適宜「施設外活動（散歩、公園、公共施設）」も取り入れながら、折々の状況を踏まえ、個別支援と集団支援を組み合わせている。一方、開所3年目を迎え、個々の利用者のストレングス、保護者のニーズがかなりはっきりし、それが「個別支援計画」に具体的に落とし込まれていることを考慮すると、今後は「個別支援」の充実を図る必要があるとも感じている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	4	支援修了後は送迎の関係で、職員全員による打ち合わせは難しい。とくに担当者が、次回の支援の改善に向け、成果と課題をまとめるように努めている。 ○ホワイトボードでしっかりと確認できている。 △もう少し打ち合わせに時間をとってもらえるとよいと思います。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	7	1

	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	3	2	LINE、HUG、ブログを活用した日々の支援記録を職員間で共有している。主な集団支援については、児発普が前述の「特性確認シート（Ⅰ～Ⅲ）」を踏まえ、活動中の個々の興味関心、意欲や能力の高まりなどを、ノートに記録。アセスメントの折りは、保護者に適宜紹介するとともに、質疑応答などをもとに、「個別支援計画」を練り直している。
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1		保護者の意向を尊重しながら、ほとんどの利用者は「6か月に1回」のモニタリングを実施している。更新月を迎える利用者が多い月は、保護者のご了解を得て、モニタリング時期を前後させるなど、全利用者のモニタリングの質を確保するために万全を期している。
関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2		各職員の日（≡見識）で日々子どもの状況を把握し、支援を進めているが、職員間には知識と経験のちがいが少なからずあり、最もふさわしい者が常に参画できているとは限らない。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	5		行えていない。保育園、幼稚園、小学校については、送迎や保護者経由で、口頭や文書レベルの情報共有を行うこともあるが、その他の関係機関となると、先方からの連絡が入らなければ、積極的な連携は図れていない。アセスメントの折りに、保護者へアプローチし、適宜連携を始めたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	3		「手術」を伴う医療ケアが必要な利用者が1名在籍。主治医等との連絡体制は今後の課題だが、保護者からは細かな状況を連絡いただけることが多く、食事介助などでより適切な支援ができていると考える。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	5		令和5年現在、医療ケアを必要とする利用者が1名在籍しているが、連絡体制は確立していない。受け入れる場合は、現在の利用者の状況も鑑み、保護者のご意向を汲んで、適切な連絡体制を整えたい。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	5		あまり図れていない。送迎の折りに、各施設や事業所間を行き来する場合は、当日の様子を聞いたり、連絡帳を通じて、情報を得たりしている。今後はさらに、それらを緻密に記録し、支援内容を見直す機会としたい。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	4	1	各ホームページ等を通じ、専門機関の概要は把握しているが、具体的な情報共有と相互理解の場を設定するには至っていない。毎年「児発から放デイ」移行利用者があるので、早急に場を設定していきたい。

の 連 携	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	2	相談支援事業所を中心に、電話や来訪による助言を定期的にいただいている。とりわけ、複数の利用者を担当していただいているいくつかの事業所からは、参考となるご意見やご指摘をいただくことが多く、「個別支援計画」を立てる際の確かな情報源としている。 △研修は受けていない。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	4	機会がない。コロナを取り巻く状況は大きく変わったが、保護者のニーズ等を考慮すると、今のところ、積極的な交流は考えていない。 *交流はあまりない。
	28	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	4	参加できていない。機会をとらえ、参加を検討したい。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	2		利用日には HUG、LINE を通じ、写真とコメントによる利用状況を提供。利用者のよさと課題について共通理解を図っている。さらに、折々にブログを更新し、事業所としての支援の状況をありのままに伝え、利用者の保護者はもちろん、折々には利用を希望する保護者や一般の読者からの反響も感じている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6		十分にできているとはいえず、保護者からも実施を希望する声を聞くことがある。アセスメントの際は、現在の保護者の育児や悩みを確認しながら、事業所内における具体的な事例も交え、よりよい支援の仕方を共に考えている。
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		利用希望者には原則「無料体験プレ教室」で事業所や他利用者の雰囲気を感じていただき、ご利用を検討していただいている。アセスメント後は、事業所運営については「サービス管理責任者」が、支援内容については「児童発達支援管理責任者」がそれぞれ詳細に説明。十分にご理解をいただいた上で、ご利用をお願いしている。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	2		アセスメントは「サービス管理責任者」と「児童発達支援管理責任者」で対応。保護者のヒアリングを個々の視点でとらえ、質疑応答を進めている。ニーズやストレングに直結しそうなポイントには重点的に対応し、保護者が自身のお考えをまとめていけるように支援するとともに、「児童発達支援計画」を傍らに置き、適宜説明を補足。支援内容に関する確認と同意を得ながら、ご理解とご協力をお願いしている。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		1	事業所として、すべての保護者とLINEによる相談体制が確立。電話やメールによる相談にも適宜対応。折々の保護者の声をできるだけ吸い上げられるように努めている。

保護者への説明等	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	5	土日開所を実施しているため、父母の会の時間を捻出することは難しい状況にある。保護者の声を集約するプラットフォームとして、Zoomなどを適宜活用することを検討したい。 *開催してみてもいいと思う。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		1	利用時のトラブル等は必ず保護者にその経緯と対応を伝えている。今年度は「ヒヤリハット」にまとめた事例はもちろん、新規利用者に伴う利用者間のトラブル等も多く、児発管は後々の責任（説明責任&結果責任）を心がけ、そうした事例を毎回記録。アセスメント等で保護者から説明を求められた際は、誠実に対応している。 ○携帯（LINE）を使用することにより、保護者からの申し入れもしやすく、瞬時に対応ができています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	2	「リタリコナビ」によるブログ発信は、利用者とその保護者からの好評を博すとともに、新規利用希望者には、それを事業所選択の一つの理由に上げている保護者も多い。個々のアセスメントやモニタリングの際は、話し合いを進める題材となることも多く、職員間では支援内容のフィードバックの一助にもなっている。
	37	個人情報に十分注意しているか	9		2	保護者連絡のための写真撮影、および、文書作成はすべて社内スマホ、もしくは、社内パソコンで行っている。折々のミーティングでは、「守秘義務」への喚起をするとともに、書類については、管理はもちろん、書庫の施錠の管理に至るまで、万全を期している。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		3	他利用者とのトラブル等で気持ちが昂ったり、思うようにならないことがあり、落ちつかない利用者がいた場合、部屋を改めるようにしている。一方、そうした状況に対する職員間の受け止め方は千差万別であり、また、職員の言動がそうした状況の誘因になっている場合もあり、支援や伝達に対する配慮の大切さを痛感している。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		3	4

非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	3	1	令和5年は晩夏以降、施設内でインフルエンザが時間差で流行し、保護者の感染症への問い合わせが増加。わが子が「感染源」にならないように、早目の欠席を決められる保護者もあった。一方、園や学校のインフルエンザの状況と家庭の事情から、「感染症対応マニュアル」を希望された保護者もあり、その声も反映したマニュアルを策定。職員と保護者に周知することができた。 ○子どもは毎月必ず1回は実施している。 △スタッフはあまりできていないので、するのいいと思う。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	3	1	月1回の「SST」で、「火災」「地震」「水害」に対応した「避難訓練」を実施。令和5年は「避難経路に潜む危険」「避難所生活の様子」なども、映像やクイズで確認。より幅広い避難学習が実施できた。今後は訓練を通じ、生命の大切さ等にも切り込んでいきたい。 △スタッフだけの訓練はやっていないので、実施すべきだと思う。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	1	1	服薬等の支援は、来所時に薬を一括管理。昼食前に「担当者」から、「服薬支援」「服薬完了の見届け」を、口頭と連絡黒板で全体確認。服薬を確実にやっている。既往症等については、アセスメントシートにその経緯を確実に記載し、カンファレンスで折りに触れて確認。毎回のアセスメントで保護者にヒアリングを行い、必要な情報は職員間で共通理解している。 ○送迎時、電話（or LINE）にて確認している。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2	1	毎回のアセスメントで得た「食物アレルギー」「食習慣」に関する情報は確実に更新し、共有。何らかの変化があった場合は、保護者に問い合わせ、以降の支援への言質をいただいている。 *保護者からの対応方法を元に、リストを作成。統一した対応を行うことが必要だと思います。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	2		令和5年は「事故・事件報告書（事業所→岐阜市）」が2件。内1件は救急搬送を伴う事例であり、施設としては、その前後の支援や対応について問われた。そうした経緯を受け、その後は「予防的観点」から、児発菅が自身の気になる事例はできるだけ「ヒヤリハット」に上げ、事業所内で共有している。しかし、情報共有はするものの、「類似事例」が起こることがあり、職員間の「危機意識」の温度差は少なからずあると感じる。 ○報告書をその都度共有している。今後、定期的に見直す体制を整えることも必要と思います。

45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	2	1	<p>管理者を中心に、リタリコナビの「オンライン虐待防止講座」に計画的に参加。その内容を職員間で共有し、その後の研修の基礎としている。事業所の事例研は十分とはいえないが、折々の利用者への言動で気にかかることがあれば、相互に確認し合っている。</p> <p>*時代の流れもあり、定期的な研修は必要だと思います。</p>
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	4		<p>今のところ、身体拘束を伴う対応を迫られる事例がなく、細かな基準までは設定できていない。今後、職員個々の勝手な判断が先行しないように、管理者の原案の下、職員間で検討していきたい。</p> <p>○動画研修あり</p> <p>*事業所内にて、不適切な支援や本人主体の支援について話し合う機会は作った方がいいと思います。</p>